

第41号

平成25年4月1日

理窓教育会報

東京理科大学理窓教育会

事務局 大学会館 PORTA 神楽坂7階

巻頭言『葛飾キャンパス開設を祝し、国際的に活躍する理数系人材の育成を目指すため、母校への一層のご支援を』

東京理科大学理窓教育会会長 富岡 康夫

理窓会山田義幸会長は平成24年12月2日にシンガポール理窓会設立総会に出席されました。帰国後の理窓会常任委員会で、今後国際的にも大学卒業生の活躍場面が増えて、それを支えるネットワークとして、同窓会の役割が重要になると述べています。さらに国際的に活躍する理数系人材育成は国の将来にも繋がることでありと、母校支援の重要性を説いており、特にFaceBookでの連携を訴えています。米国のハーバード大学やMITでは盛んに利用されている事例をあげてお話下さいました。そして塚本恒世理事長が任期満了で退任され、新たに中根滋理事長が就任しました。日本アイビーエム等で国際的に活躍された方です。藤島 昭学長は今後は母校はMITやハーバードを目標にと抱負を述べています。4月より塚本理事長が推進した葛飾キャンパスが開設し新年度は母校が国際的にも躍進する時期と確信します。

一方我が国の理数教育は国際的に通用する人材を輩出しているかと考えますと、私も関わっている日本学生科学賞の代表が本年度米国ペンシルベニア州ピッツバーグで開催されたISEF(国際学生科学技術フェア。世界中40ヶ国以上から集まる1500人以上の高校生(9-12grade)が自分たちの研究を披露しあう科学研究コンテストで、いわば「科学のオリンピック」です。)では入賞できませんでした。このことは嘗てないことです。日本代表の広

島国泰寺高等学校の生徒達は「世界の研究のレベルの高さに驚いた」と語っていました。

中央教育審議会の理科専門部会の委員の時にも私は、科学創造立国として我が国の理数教育の更なる充実のために、新学習指導要領での理数重視をお願いし、その結果、小中高で理数の授業時数が増え、高等学校では1年前倒しで本年度の施行が始まりました。

SSH(スーパーサイエンスハイスクール)では来年度は全国で200校の指定を目指しており、私もヒヤリング等でお手伝いをしています。夏のSSH生徒研究発表会では英語での研究発表も行われ、海外からの招待生徒からの英語の質問にも答える場面があります。その様子はこれからの理数系の生徒の国際的に活躍する期待が伺えます。

今回の新学習指導要領の下での教科書検定では高等学校の理科については専門用語の下に英語がついたものができました。例えば「配位子」の下に小さく普通の英語辞書にも載っていない「ligand」の記述があります。言葉は様々なきっかけで、身に付きます。英語の言葉からも概念が深まる機会があると考えて基準ではありませんがお願いしました。

国際的な表示に合わせるために「 l 」を「 L 」、「 1 」にも変えました。このように国際的にも活躍できる理数系人材の育成のために関わってきました。思うと2010年に日本で開催された第42回化学オリンピックにも組

織委員会オブザーバーとして参加してきましたが、表彰式を見ていますと、残念ながら我が国の生徒は最高6位でした。1位中国、2位ロシア、3位韓国で、その時心から我が国の理数系人材育成の必要性を強く思いました。東京理科大学の先生方は「国際科学オリンピック」に関わっている先生方も多いと聞きます。本学の建学の精神である「理学の普及を以て国運発展の基礎となる」を思う時、理窓教育会の会員の皆様が教育という視点で国際的に活躍できる理数人材の育成という視点を付け加えて、母校へのご支援を賜れば、大変ありがたく思います。

(私立文華女子中学・高等学校長)

支 部 報 告

北海道支部総会報告

支部長 (52 理工物) 石谷 克彦

北海道支部総会・懇親会は平成 24 年 9 月 8 日 (土) 午後 6 時から札幌駅北口近くの会場で開催いたしました。今回の参加者は 8 名 (前年比 1 増) でした。理大教育会北海道支部名簿には昭和 40 年 (1965 年) 卒の方から 2001 年卒の若手までおよそ 110 名が登録されております。参加者増が毎年の課題でしたが今年も例年並みの参加者数となりました。最近では 9 月開催が恒例となっていますが時期の変更も視野に入れながら参加者増の方策を検討したいと思っております。例年 4 月に開催される北海道理窓会の懇親会も 20 数名の参加者であり、同窓の絆をもっと太くしたいと願うのは同じであろう、と思っております。

総会での役員の選任・会計報告等もそこに美味しい料理とお酒の懇親会と致しました。自己紹介と近況報告をする頃になるとお酒も入り滑舌がよくなったのか、笑いも起き楽しい会にすることが出来ました。

次年度は懇親会・情報交換会として開催し、南は函館市、北は遠別町まで (本州で言えば隣々県ぐらい) の広域に居住している会員で

構成される北海道支部ではありますが会員相互の人脈をフルに活用して、遠距離の壁を越えて何とか参加者数を増やしたいと考えております。

岩手支部総会その他報告

理窓会岩手支部長 菅原 通

一昨年(2022)の3月11日、千年に一度と言われる東日本大震災が発生し、2年が経過しました。地震と津波により岩手県でも理窓会員が居住あるいは勤務する沿岸部を中心に想像を絶する被災がありました。教育委員会ははじめ公的機関の人事異動も実施されつつありやや落ち着きがでてきましたが、復興にはまだまだほど遠い状態です。早期の本格的な早い復興を願います。

1 理窓会支部総会その他

ア 支部総会 (盛岡市 ホテルエース)

東京理科大学より渡辺恒夫常務理事・増淵忠行理窓会副会長をお迎えして、11月10日に支部総会が開催されました。両先生より大学や維持会そして理窓会について詳細な報告があり、大学の現状と今後の発展について理解が進み大きな期待をいただきました。震災の影響もあり、支部総会参加者が全国平均を下回っています。今後はたくさんの方が参加する総会を工夫していきたいものです。

理窓会教育会の講演会では、大きな被害のあった宮古工業高校の藤枝和宏先生から、特別教育活動についての講演がありました。震災を乗り越え自ら学びながらサッカー部の指導を通じて文武両道の生徒を育成するご活躍やご苦労が詳細に語られは参加者に大きな感銘をあたえました。

懇親会は、岩手支部顧問原久雄氏の乾杯・挨拶で開始し和気あいあいと楽しいひとときを過ごしました。

イ こうよう会本部主催行事 (ホテル華の湯郡山市)

お二人から素晴らしい講演をいただき、保護者と楽しい充実したときを過ごしました。

藤嶋昭東京理科大学学長 「科学も感動から～身のまわりにはおもしろいことが多い～」
本村真三独協医科大学准教授 「福島第一原発事故による影響とは?～放射能汚染の実

態から差別まで検証する～」

懇親会では、県の枠を超えて、東北各県の
こうよう会員と交流がなされました。

2 24年度岩手支部の支援活動

- ア 6月 4日 ・第1回事務局会議（石川明彦本部幹事他6名参加） 盛岡市
- イ 6月17日 ・支部長会議（菅原通）
・代議員総会（石川明彦、菅原通）東京都
- ウ 6月17日 ・こうよう会総会（千葉仁、眞岩一夫、福土猛夫） 盛岡市
- エ 11月10日 ・支部総会（ホテルエース出席者21名） 盛岡市
- オ 12月 1日 ・こうよう会総会（サンセール盛岡 石川明彦） 盛岡市
- カ 12月 8日 ・こうよう会本部主催行事（ホテル華の湯） 郡山市
- キ 3月 5日 ・教育会の原稿（総会その他）提出。

秋田支部総会報告

理窓会秋田支部長 奈良伯夫

来賓として、大学から理事の池北雅彦先生、理窓会から副会長の増渕忠行先生、こうよう会からは秋田副支部長の阿部武博様と会計の和賀伸司様をお迎えして、10月20日(土)午後3時からアキタパークHで平成24年度の支部総会を開催致しました。出席者は26名です。

支部長挨拶のあと、予定した案件（会務報告・22年度決算訂正の件・23年度会計）がすべて承認されました。

総会終了後、池北先生は今年の志願状況、国際化の推進、葛飾キャンパス開設後のイメージ（各キャンパスの特徴）等について、また、増渕先生は17万6千人の卒年分布など発展する理窓会の現状について、それぞれお話し下さいました。続いて写真撮影、最後に懇親会を行いました。

今回、会場が変わり秋田駅から遠くなったので、列車で帰る方を考慮し、懇親会の開始時間を早め4時半にしました。そのため、総会等の時間が多少窮屈になったものの、それでも予定より早く懇親会を始めることが出来ました。ご出席の皆様には、会の進行にご協

力頂き感謝しております。

特筆すべきは、初めてご出席の方が5名もおり、中でも平成21年卒の若い加藤遥さんにご出席頂いたことは、今後の展望が開けたようで、感謝・感激です。懇親会では、その加藤さんが4年時の入試案内に掲載されていたことを、増渕先生が紹介されたのをきっかけに、次々とスピーチが続いて楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

群馬支部総会報告

支部長 (51 理物) 猿谷 亮司

平成24年度群馬支部総会は、平成24年12月1日(土)午後3時から前橋市のアニバーサリーコート・ラシーネで、17名の会員の出席のもとに開催されました。

本部からは、東京理科大学常務理事の村田雄司先生と同大同窓会常務委員の松井辰男先生が出席し、挨拶と理科大の現状を詳しく説明してくれました。

また、今年の特別企画としては、「グローバル人材と英語力」という演題で、サンデン顧問の中沢萬佐雄氏による講演がありました。群馬支部長深澤知明氏(49 応物)もサンデン顧問ということで、そのつながりにより実現しました。

コミュニケーション英語のスキルの身に付け方として、「リップシンキング」「リピート」「シャドーイング」「音読」があり、英語は音の言葉であるので音で理解しなければならないと説明していました。また、グローバル人材とは、自分のやっている仕事が海外でも通じる人材と解説していました。1時間ほどの講演でしたが、大変勉強になる有意義な講演会でした。

その後の懇親会では、各出席者の近況報告もあり楽しく和やかに過ごしました。

茨城支部総会報告

支部長 (46 理物) 小林 康則

【役員会】今年度の理窓教育会茨城支役員会は平成24年3月31日(土)台風並みの強風の中、水戸市内のファミリーレストランで行

われた。支部長、副支部長、庶務(1名)が出席。支部長よりの収支決算の報告および承認の後、支部総会の会場、時期、講演者、案内方法(郵送、メール)および議案等が検討された。

例年の会計状況から、支部会費を1000円に値上げせざるを得ないという結論に達し、今年度の支部総会の承認を経て会則を変更することになった。

【理窓教育会支部総会】6月30日(土)10:30より昨年と同じ水戸市の県民文化センターにおいて行われた。

例年より早い6月という開催時期のせいもあってか、参加者は例年より少なく9名であった。約300名の会員に案内通知を送っているが消費税並みの5%ぐらいの出席率を目指したい。

支部総会の次第としては、支部長挨拶、参加者の自己紹介を兼ねた近況報告、議題へと進み、ここ数年の懸案事項だった会費の値上げが承認された。昼食後①県教育研修センター情報教育課長 鮎川光義氏から「学校における情報セキュリティと個人情報の取り扱い」、②県南教育事務所学校教育課長 古谷田明良氏から「理科教育の充実に向けて」の講演をいただき質疑応答をし、和やかなうちに閉会した。

今後とも、趣味や特技の発表、採れ過ぎた野菜、釣れすぎた魚を持ち寄れるようなアットホームな会にしたいと思う。

【理窓会支部総会】平成24年10月6日(土)15:30からホテルアルファ・ザ・土浦で行われた。支部総会において、毎回貴重な時間を割いて特別に理窓教育会茨城支部の現況等の報告の機会を与えていただいております、会の現況等を報告させていただきました。

東京支部総会報告

支部長(48K) 富岡 康夫

平成24年度の東京理科大学理窓教育会東京支部定期総会は5月27日(日)午前11時30分より、東京理科大学神楽坂校舎3号館333教室で開催した。今年度も理窓会と同日に本

定期総会を開催した。

総会は塩谷耕私学部会部長の司会で始まった。挨拶を理窓教育会長東京支部長の富岡が行った。今年度も理科系大学で教員採用者が200名を超えて全国で一番の実績であること、今後の理窓教育会の発展のために会への積極的参加と会員拡大のお願いを述べた。

次に報告および議事に入り、平成23年度各部・各委員会の活動報告があった。坂本担当理事より全国組織の状況の報告があった。23年度の会計報告と平成24年度の活動方針(案)が各委員からあった後、役員改選(案)について支部長からの提案説明があり、満場一致で了承された。引き続き富岡が支部長を担うことが了承された。

坂本担当理事は理窓会の副会長であり、10月28日(日)実施の「第7回ホームカミングデー」への参加の呼びかけ、「第4回坊っちゃん科学賞」への生徒発表のお誘いと教育会が全面的に支援することについてのお願いがあった。教職課程指導室の榎本理事から大学では全国でもはじめての試みであろう新たな理科教育専用の実験室が整備されたこと、高度な機器実験の器材も充実していること、多くの関係する先生方に利用していただきたいこと、指導方法の研修や教材開発に利用して欲しいことについての報告があった。その他では東京都教育委員会の施策で、都立広尾高校の田神校長より東京理科大学と都立広尾高校が理数教育分野で高大連携を推進する旨を報告した。

本総会終了後、会場を1号館17階記念講堂に移動し理窓会東京支部と合流した。大学より塚本桓世理事長より大学の現状の説明、特に新たな葛飾キャンパスの開設の様子などをまた、山田義幸理窓会会長より理窓会の新体制、森野義男維持会会長の維持会の説明と創立125周年記念募金お願いがあった。その後は、講師東京理科大学理工学部池北雅彦教授の「薬はなぜきくか」をテーマにした講演であった。大学院の授業のような内容であり、参加者から様々な質問も飛び出した。薬が作用するメカニズムや分子生物学の話の分かり

やすく解説されていた。特に分子の形が重要なことや、新たな視点で健康を大切に考えるとの内容であった。懇親会はこうよう会の皆様も加わり話の尽きない会であった。特に藤嶋昭学長が発見した光触媒にまつわるお話と一緒に感激をして交流が進んだ会であった。

千葉支部教職員部会からの報告

理窓会千葉支部長 (44 理物) 小倉 正敬

理窓会千葉支部教職員部会では、平成 24 年 7 月 28 日(土)、千葉市のホテルポートプラザちばにて、研修会を盛大に開催した。その研修会の席で、発表した拙稿を下記により掲載したい。紙面の関係でほんの一部になることをお詫びする。

○「リーダーの人心収攬術」

人間は欲とやっかみの動物である。他人が良くなるのは好まないし、自分はいくらでも欲しいものがある。組織の中では、満足者を増やし不満者を減らさなくてはやっていけない。幸いにも人間の欲するものは多様であり、満足の住み分けが可能である。このことは徳川幕藩体制に学ぶことができる。

満足の住み分け (満足の分け合い)

1. 権 (権限)

幕府の老中や奉行は、実務の実権を握り、権力を持ち、代々譜代から出る。

老中・・・譜代の小大名から出る。

奉行・・・旗本 (500 石～3000 石) から出る。勘定奉行は、2000 石で従四位ながら天下の経済を動かす権力を持つ。

2. 禄 (所得)

戦国時代、槍で千石、采配で万石と言われた。その子孫たちの所得である。前田家、島津家、伊達家、毛利家、御三家 (35 万石～102 万 3000 石) の外様の大大名や親藩は、石高は高いが幕政に対して発言することが出来ない。

3. 位 (朝廷から授けられる位階)

公卿の大納言は、250 石の貧乏暮らしだが、従二位の高位である。つまり、位は高いが、政治的発言権は乏しく、禄は驚くほど低い。10 万石程度の外様大名は、従五位で幕政に発

言権はない。

神奈川支部活動報告

支部長 (51 理化) 細川 秀夫

理窓教育会神奈川支部は、理窓会神奈川支部、神楽会 (県立高等学校管理職及び教育行政職の会) と連携しながら活動を進めています。

平成 24 年度理窓会神奈川支部定期総会は、平成 24 年 7 月 28 日 (土)、鎌倉にある鶴ヶ丘会館で開催し、参加者は来賓の方等を含めて 100 名という盛会なものでした。総会では、塚本理事長、藤嶋学長、森野維持会会長からのご挨拶があった後、議事に入り 23 年度事業報告、収支決算報告、24 年度事業計画案、収支予算案が承認されました。同時に開催した講演会は、秋山哲雄国土館大学准教授による「都市鎌倉の武士と寺院」のタイトルで講演があり、古都鎌倉に想いを馳せることができました。

平成 25 年理窓会神奈川支部賀詞交歓会は 85 名の参加者を得て、1 月 26 日 (土) ローズホテルで開催され、山田理窓会会長、中根理事長、藤嶋学長、森野維持会会長からご挨拶がありました。その後、本大学の卒業生で JP ドメイン名の登録管理、DNS の運用管理によってインターネットの基盤を支えている日本レジストリサービス株式会社の東田代表取締役社長による講演がありました。ICT の国際的分野における同窓生の華々しい活躍に驚くとともに、情報科学の進展について講師の方の在学時の状況から現在に至るまで楽しく学ぶことができました。

また、平成 24 年度神楽会は平成 24 年 7 月 16 日 (月) 海の日、12 月 9 日 (日) に開催し、退職校長 OB、現職副校長による学校経営に関する講演、また、人財ラボ株式会社の下山代表取締役社長によるリーダーシップ論の講演を拝聴し学校マネジメントの研鑽に努めました。このように本支部は様々な機会を活用し、支部員の交流と資質向上に努めています。

山梨支部総会報告

(53 理物) 橋田 多喜夫

山梨県支部総会は、毎年理窓会山梨県支部総会と合同で開催しています。本年度は平成24年9月29(土)16時から甲府市「ニュー芙蓉」で、9名の参加のもとで開催されました。

来賓として東京理科大学理事 池北雅彦先生、理窓会事務局長 山下正先生、諏訪東京理科大学学長 河村洋先生、こうよう会山梨県支部支部長 植野功様、副支部長 保坂弘子様、藤本チフミ様をお招きしました。池北先生から東京理科大学の現状と将来の展望を、山下先生から理窓会の現状と今後の展望についてのお話をお聞きし、発展を続ける母校の様子を頼もしく感じました。また、河村学長から諏訪東京理科大学のお話も聞くことができました。こうよう会植野支部長からは山梨県支部の活動状況をお聞きしました。我々同窓生は、この支部総会を期に、より一層結束を固め支部の発展はもとより、東京理科大学と諏訪東京理科大学の発展に力を尽くす意を新たにしたところです。

本年度も支部総会前に、本会関係者による講演会を実施し、歌と体操指導で山梨県内で活躍中のこうよう会山梨県支部会員で、NPO法人理事の藤本チフミ様を講師に、講演と「地域活性化ソング&体操」のご指導をいただき、参加者全員で体を動かし、リフレッシュできました。

また、今年度もこうよう会山梨県支部会員をご招待しました。理窓会・理窓教育会と、こうよう会との親交を深め、この交流を通して、在学生・卒業生への広報に役立てたいと考えています。

静岡支部総会報告

(55 修薬) 樋口 和男

平成24年度理窓教育会静岡県支部総会は平成25年1月26日(土)に三島市で15人の参加のもと開催された。

総会では葛飾キャンパスのオープンなどの近況や坊ちゃん本の紹介などの大学近況

報告、減少している本県教員採用者に対して本部との連携の必要性等が討議された。

通常の議事後に懇談に入った。各会員から近況報告・情報交換が行われたが、昨年盛り上がった算数指導論の延長として、小学校長から四年生の図形の面積を求める問題が出題された。

図で示せば簡単であるが紙面の関係で少々長い説明で勘弁してもらおう。一辺が10cmの正方形ABCDがある。辺ABの中点をP、BCをQ、CDをR、DAをSとする。次に頂点Aと中点Q、頂点Bと中点R、頂点Cと中点S、頂点Dと中点Pのそれぞれを結ぶ。すると正方形の真ん中に四角形が生じる。この四角形の面積を子ども達に考えさせ事が課題である。

答えを出すことより小学生にわかりやすく説明することや、その解き方に興味を持たせることの難しさを痛感する。新教育課程でも理数教科の重要性が見直されている。理数教育の入り口での指導の重要性を改めて認識した。これまで母校は高校や中学の理数教員を輩出しているが、そのノウハウを生かして小学校で指導できる理数教員を育成する必要があるように思えた総会であった。

富山支部総会報告

支部長 (52S) 辻井 満雄

理窓教育会富山県支部総会は、理窓会富山県支部定期総会と兼ねて開催している。本年度は、平成24年8月25日(土)16時から富山地鉄ホテルにて来賓を含め、19名の参加者のもとで開催された。

総会は、本多宗高会長のあいさつに続き、村田雄司常任理事、増淵忠行理窓会副会長からご挨拶があった後、議事に入り、23年度事業報告、会計報告が承認された。その後、教育会から県下の教育状況について、いじめ、校内暴力、学力向上、教員採用状況等の観点から報告した。

議事、協議終了後、高柳登(41理・数)氏による「黎明期のコンピュータ」という演題

で講演会が開催された。機械言語からC言語までの変遷の話に全員が聴き入った。

その後、参加者全員で、記念撮影し、懇親会に入り、本多会長の情熱溢れるお話の後乾杯、懇談に入った。懇談の中で、理科大出身で歌手の布井祥子さんの伸びやかな歌声を披露していただきました。過去にも支部総会に参加していただきましたが、今回は「今できること」という東日本大震災の応援を込めたCDの宣伝も兼ねて来ていただきました。

正規会員の情報が入手困難で、会員数を増やす手立てが、風聞に頼らざるを得ない状況になっている。そのためか、総会の参加者が固定し、参加数も減少してきている状況である。11月17日に、総会への参加者数の増大について、開催時期、曜日、声かけ等について意見を交わし組織拡大に向けて取り組んでいる。教育会で、教員相互の連携と教え子への呼びかけの大切さを確認した。

広島支部総会報告

支部長 (47 理数) 河野 正憲

教育会支部総会は、平成24年9月22日(土)にホテルセンチュリー21で理窓会支部総会に先立って会員10名が出席して開催しました。議事内容は次のとおりです。

- 1 平成23年度の行事報告および決算報告
- 2 平成24年度の行事予定および予算案
- 3 役員改選

恒例の理窓会支部会員による講演会は「マツダモノ造り革新」の演題でマツダ(株)菅康宏部長(59 理工・機械)にSKYACTIV技術のもう一つの側面であるマツダ独自のプロセス革新についての講話をしていただき研修をしました。

理窓会支部総会では、本部から塚本恒世理事長、山下正理窓会事務局長、森野義男維持会会長にお越しいただきました。また「こうよう会」から吉田真理支部長、平野郁美会員が参加されました。

塚本理事長より、大学を取り巻く環境、教育研究体制の改編、研究に対する世界的な評価等の説明をしていただき、母校の素晴らし

い発展に卒業生として誇りを感じました。

今後とも東京理科大学で学んだ私たち同窓生は、お互いに縁を大切にして、教育会及び理窓会支部会員の和を広げていきたいと思えます。

山口支部活動報告

支部長 (45 理数) 平川 芳孝

個人情報保護の考え方が強まった現在、会員の所在把握もなかなか困難となり、総会の開催が厳しい状況にありました。

そのような中、理窓会の山口県支部総会も参加者が固定し、参加人数も極めて少数という状況が続いており、今年度は何とかこの状況の改善を図りたいという思いから、理窓会山口県支部と理科大在学生の保護者会である「こうよう会」山口県支部の総会を合同開催するという計画を耳にしました。これはチャンスと考え、それぞれの会長さんに我々理科大理窓教育会山口県支部もこの総会に合流させていただけないかというお願いをし、3つの会の総会を下記のように合同会する運びとなった次第です。

期日 平成24年11月17日(土)

場所 山口グランドホテル

内容 ①元株トクヤマ理事矢吹欣一(36 理化)による「私の履歴と趣味」と題する講話 ②理窓会会長山田義幸氏から理科大の現状と課題について講話 ③茶話会

全体では約25名、そのうち理窓教育会メンバーは5名の参加。合同開催としての成功もあり、大変有意義な会となった。

坊っちゃん科学賞 (高校生部門)について (48B) 菅井 悟

高校生の理科離れが憂慮されるなか、科学への興味関心を高め、科学研究を奨励し、発表の場を設け、優れた研究を顕彰しようと始まった「坊っちゃん科学賞」は、本年度で第4回を迎えました。全国の理数科設置校やスーパー・サイエンス・ハイスクール指定校、首

都圏8県と東京理科大学のある長野・山口県、理窓教育会推薦の学校など、全国1849校に参加を呼びかけた結果、物理、化学、生物、地学、数学情報等の分野で、個人研究9件、共同研究52件の応募があり、参加生徒総数は300名を超えました。

9月8、10日に、分野別・総合審査がPORTA神楽坂で行われました。研究水準が高いものが多く審査が難航したが、「新規性のある研究を顕彰」との観点から厳正な審査を行った結果、次の5点が優秀賞に決定しました。○「花崗岩の角閃石の微細構造の発見 ～マグマ分化過程を推測する指標～」兵庫県立加古川東高校、○「沈着した放射性降下物からの空間線量率の解析・第2報」愛媛県立東温高校、○「ヒドラの摂餌行動と再生についての探求」名古屋市立向陽高校、○「円柱側面上のsin曲線」明治大学付属明治高校、○「紫の追求Part2～ヨウ素デンプン反応の不思議に迫る！～」福岡県立鞍手高校（順不同）

10月28日のホームカミングデー当日に、優秀賞受賞校による発表会が行われました。堂々と研究成果を発表する高校生、発表を見守る仲間やライバルの他高校生、真剣な表情の審査員の方々、暖かく見守る会場を埋め尽くすOBの皆さん、様々な想いが重

なり白熱したコンテストとなりました。

発表・プレゼンテーション、質疑応答を経て、名古屋市立向陽高校の「ヒドラの摂餌行動と再生についての探求」が最優秀賞に輝きました。秋山仁審査委員長の講評の後、藤嶋昭東京理科大学長より、記念の盾と副賞が贈られました。

論文数や参加生徒数、研究水準など、コンテストが質量共に充実してきた結果、規模の拡大に伴うさまざまな課題が出てきました。それらに対処し、さらなる発展を図るため、今年度は、運営組織体制の強化を図りました。事務局を設け、理窓教育会やOBの皆様の協力のもと業務を分担して取り組みました。コンテストを成功裏に終わることができましたのも、皆様の多大なるご協力の賜物と感謝する次第です。

なお、平成25年度の「坊っちゃん科学賞（高校生部門）」は、10月27日に葛飾校舎で開催されるホームカミングデーの中で開催します。今後とも皆様のご協力をお願いします。



新規採用教員・管理職選考合格者・退職者激励会について

(45B) 松原 秀成

平成25年3月2日(土)理窓教育会東京支部の主催の教員採用試験合格者・管理職選考合格者・教員退職者激励会が森戸記念館第一フォーラムにて開催された。

東京理科大学中根滋理事長・藤嶋昭学長・山田義幸理窓会会長・加納誠こうよう会会長をはじめとしてご来賓4名、現職・OB教員、今年度の教員退職者、管理職試験に合格された会員等の出席者33名が出席して盛大に行われた。また、新規採用教員予定者は52名総数約90名が出席し盛大に行われた。

司会は松原秀成理事が務めた。會田良三理事の開会の言葉、富岡康夫会長挨拶に続き、ご来賓としてご出席の中根滋理事長のご挨拶があり、合格した学生たちへの応援エールが送られると同時に全国に多くいる理科大学卒業の先輩達からたくさん学んで欲しいとのお話をいただいた。藤嶋昭学長からは良い本をいっぱい読みなさいと話された。小久保正己理事の合格状況の説明の後、合格者を代表して、東京都公立学校共通数学に合格している島田久士君が、感謝の意と決意表明を力強く宣誓されました(右上の写真)。

次に教育管理職選考試験合格者が武内愛樹町田市立金井中学校長より紹介。管理職選考の選考方法が以前と異なってきたので、変化に対応する対策が必要だとの話があった。

引き続き、長谷川純一理事の司会で懇親会にはいりました。ご来賓としてご出席の教職支援センターセンター長の眞田克典教授から励ましの言葉、こうよう会加納誠会長からも励ましの言葉をいただいた。元気な教員採用試験合格者の諸君からは自己紹介と教師としての熱い抱負が述べられ、和やかな雰囲気の下、同窓としての先輩・後輩の絆を深めつつ散会した。



同窓の活躍

理大のOJT 気質

東京都立立川高等学校長

(53S) 下條 隆史

昭和53年3月に理I数学科を卒業しました。学生時代は数学にどっぷり浸かり、数学研究会に所属し、問題をひたすら解いていたことを思い出します。就職活動は一切せず、数学を探究して生活できる人生を夢見ていました。

4年になり、卒業後の生活に不安を感じていたころ、両親の勧めもあり、教員採用試験を受験して高校の教員になりました。先のことを考えない性格から、数学の教員なら数学を解いて生活できると勘違いしていた自分が恥ずかしいです。

最初の赴任先は、新設2年目の学校でした。新設校は、教職員が元気で、新しいことに挑戦する気概をもっていました。そんな学校ですから、要求されることも多く、先輩教員から、昼間も夜も鍛えられました。

おかげで、公開授業や授業研究なども多数声をかけていただき、50分の授業のために、何日も教材作成や指導案を作成する日々を過ごしたことを思い出します。習熟度の研究指定校であったために、データ分析も行いました。当時は、性能の良いPCもなく、メモリ30個ほどのプログラム計算機を夕方から

翌朝まで動かして、結果、プログラムミスと気が付いたときには、愕然としたことを思い出します。

その後も、数学が専門ということもあり、入試や時間割などにも多く関わらせていただきました。最初 10 年ぐらいは無我夢中でしたが、慣れてくると、遠くで見守ってくれている理大の諸先輩方の温かな雰囲気を感じられるようになりました。

定時制の教員時代には、数学教育の粋に触れることができました。数学が苦手な嫌いな生徒に、大学入試問題解法を教えるのではなく、本当に必要な数学の肝の部分のわかりやすく教える大切さを知りました。

管理職に就いたきっかけは、東京都の指導主事への憧れです。最初の指導主事選考には失敗しましたが、数年後に工業高校に教頭として赴任しました。

私の理窓会に関する感想は、「理大の仲間同士、決して関は作らず、自分の職場と生徒を大切にして、一生懸命取り組んでいる方たちの会」ということです。今から思うと、耳元でそっと囁いてくれていた先輩方ばかりです。

現在は、東京都の進学指導重点校の統括校長をしています。都に指定された7校の1校です。また、東京都高等学校情報教育研究会および全国高等学校情報教育研究会の会長を務めさせていただいています。

この職に就いて思うのでは、やはり人材発掘と人材育成の重要性です。

私も、理窓会の諸先輩方に倣って、これからも、教育のために、社会のために、理大風の人材育成に努めたいと思っています。



大学との連携

総務理事 (41S) 坂本 功

1 大学との協力事業

(1) 「教員採用試験対策講座合宿コース」指導

東京理科大学生涯学習センターの公開講座「教員採用試験対策講座合宿コース」で18名の理窓教育会の会員が指導を行いました。この講座は、野田セミナーハウスにて3月13.14.15日、2泊3日で男子約50名、女子約30名の学生が参加しました。

3日間の午前は「教育時事」「教科指導」「生徒指導」の講義の後、その教育課題に関する1200字程度の教育論文を作成し、その論文をその日の内に添削・個人指導を行いました。午後は「集団討論・場面指導」「個人面接」「模擬授業」の練習を行いました。夜は学生と先輩である理窓教育会の先生との質問・討論コーナーが設けられ和気藹々とした懇談になりました。

この合宿により、学生は実力を付けると共に教職に就こうというモチベーションを高め、7・8月の採用試験に向かうものと思います。

前ページの写真は、開講式の写真と、講師を務めた理窓教育会の会員と参加した学生たちの集合写真です。

(2) 「私学教員採用試験対策講座」指導

教職支援センターの依頼により私学の教員採用試験の対策講座を、1月31日に理窓教育会の先生を中心に行ないました。私学の教員志望の学生が増加しておりますが、情報不足や準備不足で、思ったような成果があがっていません。私学の教員採用の仕方、私学教員適性検査の過去問の解説、模擬授業、面接の仕方、などの講義や練習を約60名の学生が熱心に受講しました。

(3) 「プレ教員講座」指導

教職支援センターの依頼により、新規採用教員予定者を対象に、「プレ教員講座」を3月2日(土)13時より開催しました。初任者の心構えについての講義を、理窓教育会の並木正足立区立東綾瀬中学校長と下條隆史東京都立立川高等学校長が担当しました。

現役の先輩校長による熱心なお話は、赴任直前の教員採用試験合格者一人一人に大いに役立つものと思います。



事務局より

1. 理窓教育会事務局について

理窓教育会事務局は大学会館 PORTA 神楽坂7階の理窓会事務室内に置かれています。

ただし、理窓教育会事務局専属の事務員がいるわけではありませんので、ご連絡は郵送でお願いいたします。

なお、お急ぎの場合には、2の支部長等の連絡窓口にご連絡ください。

〒162-0825

東京都新宿区神楽坂2-6-1

PORTA 神楽坂7階 理窓会事務室内

2. 支部長等の連絡窓口

教職課程指導室 小久保正己(編集担当)

TEL 03-3260-4271 内線 2780

FAX 03-3260-1776

メール kokubo@rs.kagu.tus.ac.jp

平成25年度教員採用試験合格者数

平成25年 3月18日 現在

校種 教科	公 立					私 立			公私 合 計	
	小学校	中学校・高等学校			特別支援	合 計	中学・高等学校			合 計
		数学	理科	他			数学	理科		
北海道		2				2				2
岩手		1				1				1
宮城		1				1				1
茨城		4				4				4
群馬		1				1				1
埼玉		5	2			7	1	2	3	10
さいたま市		6				6				6
千葉	1	28	9			38	3		3	41
東京	1	51	28		1	81	17	7	24	105
神奈川		1	3			4	2	4	6	10
横浜市		1				1				1
新潟		1				1				1
福井	1					1				1
静岡							2		2	2
愛知		1				1				1
三重		1				1	1		1	2
大阪		1				1	1		1	2
兵庫			2			2	2		2	4
奈良							1		1	1
佐賀		1				1				1
長崎		1				1				1
大分			1			1				1
合 計	3	107	45	0	1	156	30	13	43	199

24年度	3	107	45	0	1	156	30	13	43	199
23年度	1	89	60			150	30	12	43	193
22年度	2	112	26		1	141		6	69	210
21年度		89	18	1	1	109	39	8	48	157
20年度		48	21	1	3	73	23	4	28	101
19年度	4	49	15		3	71	14	2	18	89
18年度		28	6			34	24	4	35	69
17年度		34	7	1		42	16	2	20	62

昨年度までのデータは最終値、今年度のは現時点値である。また、合格者数は延べ人数である。